

自治体におけるクラウド等ICTの利活用(自治体クラウド)

2グループ6町で自治体クラウドを導入

以下の2グループで自治体クラウドの導入が決定

- ・ 賀茂地域（河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町）
- ・ 吉田町、川根本町

情報システム経費の削減

災害時の業務継続性の強化

システム共同利用による情報システム職員の知見向上

自治体クラウド導入に向けた検討グループを決定し、効果的な検討を実施

自治体クラウドの導入に向けた検討方針や、「人口規模」「現在使用しているシステムの会社」「自治体間の距離」等を基に、より具体的な検討を行うグループを作り現在も議論が進行中。

他地域においても導入に向けての支援を継続

【自治体クラウドとは】

地方公共団体が、情報システムを外部のデータセンターにおき、ネットワーク経由で利用できるようにする取組み。

複数の地方公共団体の情報システムの集約と共同利用で、運用経費の削減とともに 住民サービスの向上等を図る。

